

事業計画書（ビジネスプラン）

1 事業名

特殊な粘着工法を用いた金属屋根の施工による経営革新

2 会社概要

当社は昭和 62 年の設立以来、屋根の施工・修理を中心とし、建築物に携わるあらゆる業務を行っている。その中でも特に、金属屋根の扱いを得意としている。

【一般屋根外壁施工部門】 ◎金属屋根・金属内外装材 ◎室業系屋根・外壁材 ◎アルミ・ステンレス制作金物	【環境外装施工部門】 ◎ZERO-D ルーフ（スレート屋根改修無塵工法） ◎雨水利用（タニタハウジングウェア） ◎パーフェクトキスミ （ダイヤモンド木炭シート・塗料）	【その他】 ◎ビルやマンションの 雨水排水工事 ◎社寺仏閣銅版工事 ◎内外装全般
---	--	---

当社は、お客様の喜びを自らの喜びと考え、最先端の技術、品質管理、スピードで、お客様に喜んでいただくことを目標としている。また、品質管理においては ISO9001 認証を取得している。

お客様に喜んでいただく為には、まず社員の人格形成が必要不可欠であると考えて、日常業務の中において「仕事の喜びを感じることでできる人間」の育成に取り組んでいる。

加入団体：上尾商工会議所 埼玉県板金工業組合

所有資格：建設業許可屋根工事業・板金工事業 埼玉県知事許可（般-12）第 40940 号 ISO9001:2000

3 会社の現状と問題点、解決方法

お客様からの要望

当社既存事業である金属屋根の施工においてお客様から多くの要望が寄せられている。既存事業ではビスを用いて金属屋根を下地に固定させていたのだが、ここに問題が生じていた。

・防水性の問題

金属屋根は他の屋根と比較して自由な形にデザインすることができるが、特殊なデザインでは屋根の一部に窪んでいる箇所が生じるものが多く、そこに雨水が溜まるとビス穴から雨水が浸入し、最悪の場合雨漏りを招いてしまう。

・断熱性の問題

金属屋根は熱伝導率が高く、外気温にたやすく影響されてしまうため、夏場の強い日差しから室内を守るには適していなかった。そのため空調設備によって室内気温を調整する必要があり、空調コストが

余計にかかってしまう。

- ・防音性の問題

従来工法の場合、雨が振るとビスで固定されていない部分が雨水の衝撃により振動して、騒音を引き起こしてしまう。

これらについてお客様から不満の声が上がっており、当社としても改善策を研究する必要がある。

社会的背景

2005年にアスベストを使用した資材を製造していたニチアス、クボタで製造に携わっていた従業員やその家族など多くの人間が死亡していたことが報道された。その後も、造船や建設、運輸業などにおける被害が報じられ、2005年7月29日付けで厚生労働省から平成11年度から16年度までの間に、全国の労働基準監督署において石綿による肺がんや、中皮腫の労災認定を受けた労働者が所属していた事業場に関する一覧表が公表された。

これら一連の事件により消費者のアスベストに対する危険意識は高まった。屋根材として最も普及しているのはカラーベストと呼ばれる、セメントにアスベストを入れて高圧プレスしたものに防水塗料を塗ったものであるが、これに代わる新しい部材として金属屋根に期待が寄せられている。

また、粘着工法による金属屋根の施工はカラーベストにも行うことができ、これによりカラーベストの表面が剥がれ落ちることにより生じるアスベスト被害の対策も行うことができる。

当社社員の提案

社内からも従来工法改善の必要性の声が上がっている。防水等の性能面の問題もさることながら、施工の際の技術の面でも問題が生じている。

ビスを使用する場合、その下地はビスを打ち込むことができるものに限定されている。例えば、鉄筋コンクリートや石綿板のような下地にはビスを打ち込むことができず、金属屋根の施工が不可能だった。また、ビスを打ち込むには高い技術力が必要であり、熟練者でも相応の工期を必要としていたため、工期の長期化が不可避であった。

そこで、当社社員の“ビスの代わりに粘性のゴムのようなものを使用してはどうだろうか”という提案をもとに、本計画を立てるに至った。